

ニュースリリース PGJPR21-018
メディア関係者 各位

2021年6月8日
ピアッジオグループジャパン株式会社

**175馬力を発揮する独自のV4エンジンと新型フェアリングが唯一無二のパフォーマンスを実現
究極のハイパーネイキッドの代表格である新型トゥオーノV4 Factoryを発売**

ピアッジオグループジャパン株式会社（本社：東京都港区芝2丁目、代表取締役 ネリ・ミクラウス）は、レースのために生まれた RSV4 のシャーシ構造やエンジンをベースとし、ハイハンドルを備えたハイパーネイキッドとして唯一無二のパフォーマンスと個性を誇り、エアロダイナミクスや電子制御システムを進化させた、

『新型 Tuono V4 Factory』を全国のアプリリア正規販売店にて発売致します。

Tuono V4 ファクトリーは極めて特別感が強いバージョンであり、非常に要求レベルの高いライダーのために、多くのコンポーネントを RSV4 から受け継いでいます。2つのメインライトを囲むように配置されたDRLが特徴の LED ヘッドライトユニットを搭載した新デザインのトップフェアリングは、高いレベルの防風性能を実現しています。新型 RSV4 に導入された革新的なデュアルフェアリングのコンセプトを踏襲しており、少ない面積でもエアロダイナミックパーツとしての機能を果たします。電子制御システムも従来モデルに搭載されていたものから更に進化を遂げ、さらにバイクライフをよりシンプルにすることを目的に、6種類のライディングモードを採用しています。シャシー構造は、軽量で高剛性の新デザインのスイングアームを採用し、安定したコーナリングを実現します。新型 Tuono V4 Factory は、ハイハンドルを備えたスーパーバイクとして、レースやサーキットで無敵の強さを誇ります。



アприリア 新型 Tuono V4 Factory

● メーカー希望小売価格	:	¥2,255,000（消費税10%込）
● カラーバリエーション	:	アприリアブラック
● 受注開始日	:	2021年6月9日(水)
● 出荷開始時期	:	2021年7月下旬頃より順次

**デザイン：走る楽しみを向上させる新たな空力ソリューション**

デザイン面でも他の追随を許さず、前世代から全面的に刷新しました。アприリアの象徴的なコミュニケーションをモダンでアグレッシブに解釈し、巧みにスポーティさを強調するコンパクトで本質的なフォルムが特徴です。伝統に倣い、新型 Tuono V4 マシンにはフレームに固定したトップフェアリングを採用しており、フロントエンドを軽量化し、正確で優れたレスポンスを実現しています。また、従来のスポーツネイキッドバイクでは考えられないほど高いレベルの防風性能を実現しています。Tuono V4 ファクトリーは、RSV4に導入された革新的なデュアルフェアリングのコンセプトを踏襲しており、少ない面積でもエアロダイナミックパーツとしての機能を果たします。アприリアはパフォーマンスと快適性を向上させるため、さらに複雑な空力ソリューションを徹底的に開発することに注力しています。インスピレーションは明らかにレーシング界から湧いてきており、2枚の壁の間を流れる空気の圧力は、高速走行時の安定性を最適化すると同時に、エンジンから排出される熱風を逃し、直接気流からライダーを守ることで快適性を向上させています。

トップフェアリングには、2つのメインライトを囲むように配置された DRL が特徴の LED ヘッドライトユニットを搭載し、そのライトスタイルはいかなる条件でも、Tuono V4 ファクトリーを見紛うことはありません。ワインカーランプは2つのDRLの横側に組み込まれ、フロント部がさらにコンパクトになりました。ライティングシステムにはさらに安全性を高めるために、幾つかの独自機能を搭載しています。トワイライトセンサーにより、ロービームが自動的に点灯し、急ブレーキ時にはワインカーランプが急点滅します。さらに、「コーナリングライト」機能により補助ライトがコーナーの内側を照らし、コーナリング時の視認性を高めます。

Tuono V4 ファクトリーではスポーツ走行での効率やフィーリングの向上を最終目的に向けて、エルゴノミクスを

徹底的に研究しています。横幅が狭く、従来とは異なるデザインを採用した新しい燃料タンクを導入したことにより、ライダーのバイクへのフィット感が向上し、ブレーキ時に上体をしっかりとサポートすることで腕への負担を軽減し、さらにコーナリング時の外脚のレストポジションを確保します。

Tuono V4 ファクトリーの新しいサドルは、従来モデルよりも長く、長身のライダーにも対応しており、さらに快適性が向上しています。また、オーリンズ社が開発し、ア普リリアのエンジニアと提携して微調整を加えた、最先端のセミアクティブ電子制御サスペンションを搭載しています。

またハンドルレバー上のスイッチ操作によって簡単にキャリブレーションを行うことができ、あらゆるシーンでスリル満点のライディングを楽しむことができます。

また、新型 Tuono V4 ファクトリーは、ア普リリアの最もスポーティなモデルの伝統を踏襲し、パッセンジャーフットペグ、ライセンスプレートブラケットなど、サーキット走行に必要なない全ての要素を簡単に取り外せるように設計されています。



シャーシ：Tuono V4 がこのカテゴリーの新基準

Tuono V4 のシャーシ構造は、常にこのカテゴリーの基準となっています。このシャーシがもたらすフロントホイールのフィーリングは強みと言えます。慣れるまでに要する時間は一切不要で、むしろライダーは正確で操作しやすく完璧な軌道に従うフロントエンドにすぐに自信を持つことができます。これは、ア普リリアが培ってきた超精密なシャーシ構造を組立てるノウハウが、新型 Tuono V4 で非常に高いレベルに到達させています。既に不動の地位を築いたア普リリアの伝統に基づき、Tuono V4 ファクトリーのアルミフレームは、鋳造とプレス加工された部品を溶接して強度と柔軟性を高めています。つまり、瞬時のフィーリングと最大のライディングコントロールを実現するために調整された、ねじり剛性レベルが特徴的な構造になっています。新設計のスイングアームは、フレームと同じ構造技術を採用していますが、下部に補強ブレースを備え、従来の 7 つの溶接部品から現在の 3 つの部品へと簡素化しています。さらに、補強ブレースのアームが長くなつたことで、スイングアームの横剛性がホイールピン部で大幅に向上し、トラクションに大きな効果をもたらしています。

ア普リリア Tuono V4 ファクトリーでは、先進的かつ効率的な電子制御サスペンションシステムを標準装備して

います。これはア普リリアのエンジニアとオーリンズ社が密接に協力して開発された最先端技術です。Smart EC 2.0 セミアクティブサスペンション特有の技術により、セミアクティブモードとマニュアルモードの 2 つの操作モードを備えたフォークとショックアブソーバーのキャリブレーションを簡単にカスタマイズすることができ、またハンドルバースイッチのボタン操作で選択が可能です。3 種類のマップが、異なる設定でサスペンションを調整して、セミアクティブの介入度を(A1、A2、A3)を選択します。1 つ目はスリックタイヤで使用するために開発されたもので、特に路面が非常に滑らかなサーキット走行に適しています。2 つ目はハイグリップロードタイヤおよびアスファルトが凹凸しているサーキット走行に適しています。3 つ目は公道用で、路面の状況に応じて振動を吸収する高性能な油圧技術が特徴です。一方、マニュアルモードでは 3 種類のマップ(M1、M2、M3)により、機械式サスペンションシステムと同じように、セミアクティブアシストの介入無しで、あらかじめ設定された幅広いキャリブレーションを提供します。セミアクティブモードとマニュアルモードの双方で、前述の 3 種類のロジックマップを使って、とりわけ要求レベルの高い経験豊富なライダーの好みやライディングスタイルに応じてサスペンションのキャリブレーションを微調整することができます。オーリンズ製ステアリングダンパーも Smart EC 2.0 システムによって電子制御されており、フォークやショックアブソーバーに応じてキャリブレーションの調整を最適化するようカスタマイズが可能です。ア普リリア Tuono V4 の新型 5 インチ カラーTFT ダッシュボードに表示される OBTi(オブジェクティブ ベースド チューニング インターフェース: 目的に基づいたチューニングインターフェース)が直感的なセッティングを実現します。新しい OBTi の操作ロジックは、使用状況やライダーの感覚に基づいています。このシステムでは、加速時やブレーキング時など、サスペンションシステムに負荷が掛かるあらゆる状況において、ライダーがサスペンションのキャリブレーションをカスタマイズし、それぞれの領域において理想的な設定を行うことができます。シンプルで素早い調整が可能、そしていかなる状況でも効率的な電子制御式サスペンションシステムを導入したイノベーションは、サーキットから公道まで様々な環境における使用を想定して設計されており、また最高のライディングエクスペリエンスを提供するために幅広い設定が求められる Tuono V4 ファクトリーのようなモーターサイクルにとっては非常に重要となります。

新型 Tuono V4 のブレーキシステムには、軽量かつ効率的なブレンボ製 M50 キャリパーを採用し、超高性能な摩擦係数を誇るパッドを装着しています。ブレーキキャリパーは、作動温度を適切に保つ効果のあるカーボン製エアダクト(ア普リリアの純正アクセサリー)と組み合わせることができ、最も過酷な使用状況でも卓越したブレーキ性能を保証します。



ア普リリア V4 1100 エンジンの強烈な個性

Tuono V4 ファクトリーは、**独自な個性を放つ 65° V4 エンジン**を搭載した唯一のスポーツネイキッドバイクです。スリムな V 型構造を採用することで、エンジンを大幅にスリム化することができ、マスの集中化を図ると共にシャーシのコンパクト化も実現しています。トップクラスのスポーツライダーのニーズを満たすプラットフォームであると同時に、レーシングバイクを開発するための唯一無二のプラットフォームでもあります。タイミングシステムでは、カムチェーンがインテークカムシャフトのみを駆動し、それがギアを介してエキゾーストカムシャフトを駆動するという、非常に特殊な方法を採用しています。これにより Tuono V4 では極めて小さなヘッドを採用し、GP マシン並みにコンパクトなフレームレイアウトを実現しています。クランクケースには一体型アルミ製シリンダーライナーを備えたモノブロックを採用し、高剛性と安定したパフォーマンスを実現しています。また、カウンターシャフトが振動を抑制します。1077cc のパワープラントを搭載した高性能エンジンには大幅な改善が施されています。シリンダーヘッドの構造には、より軽量で効率に優れたバルブスプリングバケットタペットを採用したこと、最大回転数が従来の 12,500rpm から新型では 12,800rpm へと 300rpm 増加しており、より切れ味の良いスリリングなパフォーマンスを実現しています。このエンジンは、セラミックマトリックス複合材の触媒コンバーターを備えた新たな排気システムにより、厳格な環境規制基準であるユーロ 5 に適合しています。この触媒コンバーターは、従来の Tuono V4 1100 に採用されていたものより軽量でありながら、さらに強度が増し、熱慣性が低くなります（より早く作動温度に達し、大気汚染物質排出量の削減に貢献）。新開発のマニエッティ・マレリ製 ECU 11MP は、ピン数が 80 から 144 に増え、計算能力が従来のものより 4 倍速くなったことで、より多くの要素が接続でき、さらにより複雑なアルゴリズムの管理が可能となりました。これらの改良により、ユーロ 5 規制に適合しているにもかかわらず、最高出力 175HP/11,350rpm、最大トルク 121Nm/9,000rpm の数値をたたき出し、ア普リリア V4 の独自の個性と相まって、スロットルを開くたびにライダーを興奮させ、あらゆる回転域で優れた推進力を発揮します。





新型 APRC: アプリリアが提供する最先端のエレクトロニクス

アプリリアの更に進化を遂げた電子制御システムが Tuono V4 ファクトリーに初搭載されます。従来モデルに搭載されていたものから更に進化を遂げ、その効率性と細かいチューニングについては常に評論家や多くのユーザーの注目の的となっています。

新世代の APRC(アプリリア パフォーマンス ライド コントロール)はレーシングから直接派生した制御システムパッケージで、ビルトイン型フル ライド・バイ・ワイヤ・スロットルが提供する高度な電子制御を完璧なまでに統合し、さらに極めて高い計算能力を誇る 6 軸慣性プラットフォームを採用していることから、バイクの動的状況を検知する能力に優れ、極めて細かい電子制御ストラテジーを実現しています。

新型 APRC の新機能の一つは、選択したエンジンマップから独立して、エンジンブレーキコントロールを調整可能にする AEB(アプリリア エンジンブレーキ)です。

Tuono V4 ファクトリーに標準装備されている新型 APRC には、以下のものが含まれます:

- ATC : アプリリア トラクションコントロールは、スロットルを閉じず、走行中に 8 段階まで調整可能、より高性能な操作ロジックを特徴としています。
- AWC : アプリリア ウィーリーコントロールは、5 段階に調整可能なウィリーコントロールシステムで、より正確な操作ストラテジーを実現します。操作しやすい左手側のスイッチブロックにより、ATC と同様、スロットルを閉じず、走行中にウィリーコントロールシステムを調整することができます。
- AEM : アプリリア エンジンマップは、エンジン出力の特性やパワーデリバリーを変更するための 3 種類のマッピングを搭載しています。
- AEB : アプリリア エンジンブレーキは、3 段階に調整可能なエンジンブレーキシステムで、リーンアングルを考慮した特殊なアルゴリズムで最適な操作を実現します。
- ALC : アプリリア ローンチコントロールは、3 種類の設定が可能なサーキット走行専用のコントロールで、極めて効率的な操作ストラテジーを採用しています。
- AQS : アプリリア クイックシフトは、スロットルを閉じたりクラッチ操作を行うことなく、迅速なシフトチェンジを



PRESS INFORMATION

可能にする新しい電子制御ギアボックスです。ダウンシフト機能も搭載しており、クラッチレスでのシフトダウンが可能です。また、スロットルを開けた状態でシフトダウンすることも可能です。

- APL : アプリリア ピットリミッターは、サーキットのピットレーンや公道での制限速度を設定することができるシステムです。

- ACC : アプリリア クルーズコントロールは、電子制御によりスロットルを操作することなく設定速度を維持できる、長距離走行に非常に便利なクルーズコントロール機能を採用しています。

APRC システムに加えて、Tuono V4 ファクトリーにはボッシュ社と共同開発した **3段階調整式コーナリング ABS** が標準装備されており、サーキットで最高のパフォーマンスを実現すると共に、路上での安全性をさらに高めています。非常に軽量でコンパクトなサイズに抑えられた 9.1MP システムは、横加速度、フロントブレーキに掛かる圧力、リーンアングル、ピッチアングル、ヨーアングルなどの様々なパラメーターを常時監視し、減速度と安定性の比率を最適化するためにブレーキ動作を調整する独自のアルゴリズムにより、コーナリング時のブレーキ操作と ABS の介入を最適化することができます。ABS システムはアプリリア RLM(リアリフトアップ ミティレーション)システムと連動しており、急ブレーキ時の後輪の浮き上がりを抑制します。3段階の感度レベルのうち1段階は、後輪の ABS を無効化することができ、サーキットで最高のパフォーマンスとスリルを追求する場合に理想的なソリューションとなります。

使用状況に応じてライディングエクスペリエンスを最大限に高め、さらにバイクライフをよりシンプルにすることを目的に、**6種類のライディングモード**を搭載しています。

ライダーは自分のライディングニーズに合ったライディングモードを選択するだけで、トラクションコントロール、ウィーリーコントロール、エンジンブレーキ、ABS などの管理パラメーターが自動的に最適な設定となります。

公道で使用する 3種類のライディングモード:

Tour - 日常ライドに最適

Sport - 公道でのスポーティな走りを実現

User - 電子制御を完全にカスタマイズ

サーキットでの使用を想定して設計された 3種類のライディングモード:

Race - アプリリア開発チームの経験に基づいて細かいチューニングが施され、トラックセッションでライダーをしっかりとサポートし、Tuono V4 および Tuonno V4 ファクトリーの潜在能力を最大限に引き出すのに最適です。

「Track 1」及び「Track 2」 - 経験豊富なライダーがエレクトロニクスの設定を完全にカスタマイズすることができ、また 2つのトラックのパラメーターを記憶することができます。

エレクトロニクスの設定は、新しいハンドルバースイッチで管理されます。左手側のスイッチブロックにある 4つのボタンコントロールや、クルーズコントロールやトラクションコントロールのクイックマネジメントコマンドにより、簡単かつ直感的な操作を実現しています。

新しい 5インチのカラーTFT デジタルインストルメントパネルには、特別な表示オプションが用意されています。Road(公道)や Track(サーキット)を選択できる 2つの画面(いずれもトワイライトセンサー搭載により、日夜自動バックライト機能付き)は、2種類の表示に対応しています。アクセサリーには、スマートフォンをバイクに接続してインストルメントクラスターの機能をさらに拡張することができる、新しいアプリリアマルチメディアプラットフォーム、アプリリア MIA をオプションとして取り揃えています。アプリリア MIA システムは、スマートフォンのバッテリー消費を最小限に抑える接続プロトコールを提供し、直感的なハンドルバー操作で音声アシスタントや通話、音楽を管理するインフォテイメントシステムとナビゲーション機能の両方を搭載しています。この機能により、スマートフォンに旅の目的地を一度設定てしまえば、バイクのインストルメントに直接経路を表示させることができます。(ナビゲーション機能は、日本国内では有効ではありません)



PRESS INFORMATION

バージョンとカラーバリエーション

Tuono V4 ファクトリーには、オーリンズ製セミアクティブ Smart EC 2.0 サスペンションシステムを採用するなど、装備パッケージを充実させたモデルとなります。Aprilia Black(アプリリア ブラック)のカラーリングは、光沢のあるブラックにレッドのハイライトを施し、アルミフレームのラインを際立たせています。

Tuono V4 ファクトリーには、スポーティなピレリ製ディアブロ・スーパーコルサを装着し、リアには 200/55 のワイドタイヤを装着しています。

Tuono V4 の独自性を極める豊富なアクセサリー

アプリリアは、Tuono V4 ファクトリーをカスタマイズする豊富なアクセサリーを設計開発しました。Tuono V4 マシンの性能、美しさ、快適性を向上させる高品質で厳選されたアイテムです。

スリップオン エキゾースト: アクラポヴィッチ製のチタンサイレンサー。車検対応

スリップオン レーシングエキゾースト: ア克拉ポヴィッチ製のレース用カーボンサイレンサー。

コンプリート レーシングエキゾースト: ア克拉ポヴィッチ製のコレクター付き コンプリートエキゾーストシステム。カーボンサイレンサーとの組み合わせが可能です。

ライセンスプレートホールカバー: レーザーカット加工を施したアルミニウム製。サーキット走行の際に、ライセンスプレートブラケットを取り外して装着します。

カーボン製フロントブレーキエアベント: フロントブレーキシステムに簡単に取付け可能。長時間ストレスが掛かる状況でもブレーキキャリパーの温度上昇を抑え、ブレーキ性能を維持します。

アルミ鍛造ホイール: 鍛造アルミニウム製。ハンドリングの向上に直結する軽量化を実現しています。

逆シフトレーシングギアレバー: サーキット走行時のパフォーマンスを向上させるため、ギアシフトモードを反転させるメカニカルパーツ。

カーボン製パーツ: カーボンファイバー製フロントフェンダーおよびヒールガード。スポーティなルックスと軽量化を実現しています。

エキゾーストサポートブラケット: パッセンジャーフットペグを取り外した時のカーボンまたはアルミ製のサイレンサー用サポートブラケット。

USB ポート: インストルメント横に設置。外部機器を充電するのに便利です。

フットペグキット: ビレットアルミニウム製。様々な位置に調整可能です。

アジャスタブル ライセンスプレートブラケット: レーザーカット加工を施したスチール製。LED ライセンスプレートライト付き。

バイクカバー: 通気性に優れたライクラ素材を採用。埃からバイクを保護します。

アプリリア MIA キット: アプリリア V4 モデル専用のマルチメディアプラットフォームの取付けキット。Bluetooth コントロールユニットおよび取付けに必要なすべての配線を含みます。

ライダーコンフォートサドル: ゲルパッドと最大のグリップを発揮する特殊素材張り

大型トップフェアリング: Tuono 通常より広い表面積で、優れた防風機能を実現します。



PRESS INFORMATION

Tuono V4 Factory 主要諸元

エンジン	4ストローク 水冷 65°V型4気筒 DOHC 4バルブ
総排気量	1,077 cc
ボア×ストローク	81 mm × 52.3 mm
圧縮比	13.6:1
最高出力	175 HP (129 kW) / 11,350 rpm
最大トルク	121 Nm / 9,000 rpm
燃料供給方式	電子制御燃料噴射システム、マレリ製 48 mm 4 スロットルボディ、8 インジェクターライド・バイ・ワイヤ エンジンマネージメントシステム
トランスミッション	6速カセットタイプ アプリリア・クイック・シフト(AQS) UP & DOWN
2次減速比	42/15
クラッチ	機械式スリッパーシステム付湿式多板クラッチ
電子制御マネージメント	APRC システム(アプリリア・パフォーマンス・ライド・コントロール)の機能 AEM(アプリリア・エンジン・マップ)、AEB(アプリリア・エンジン・ブレーキ)、 ATC(アプリリア・トラクション・コントロール)、AWC(アプリリア・ウィーリー・コントロール)、ALC(アプリリア・ローンチ・コントロール)、ACC(アプリリア・クルーズ・コントロール)、APT(アプリリア・ピットレーンスピードリミッター)、 6種のライディングモード(Road 3種・Track 3種)
フレーム	アルミニウム製デュアルビームフレーム Öhlins 製 Smart EC 2.0 電子制御ステアリングダンパー
サスペンション(F)	Smart EC 2.0 電子制御 Öhlins 製 NIX テレスコピック Φ43 mm チタンコーティング 倒立フォーク、アルミ製ラジアルキャリパー・マウント、スプリング・プリロード、コンプレッション及びリバウンド調整機能、ホイールトラベル 120 mm
サスペンション(R)	ダブルブレースアルミ製スイングアーム Smart EC 2.0 電子制御 Öhlins 製 TTX モノショックビギーバックタイプ、スプリング・プリロード、ホイールベース、コンプレッション及びリバウンド調整機能 ホイールトラベル 129 mm
ブレーキ(F)	330 mm 軽量ステンレス製フローティングデュアルディスク、 ブレンボ製 M50 モノブロック ラジアルマウント 30 mm 径 4 ピストンキャリパー、 ラジアルポンプ
ブレーキ(R)	220 mm ディスク ブレンボ製 32 mm 径 2 ピストン フローティングキャリパー
ABS	ボッシュ製 9.1MP コーナリング ABS 3 マップ、RLM(リアホイールリフトアップ抑制システム)
ホイール(F)	3.5J x 17 軽量アルミホイール
ホイール(R)	6.0J x 17 軽量アルミホイール
タイヤ(F)	120/70-ZR17
タイヤ(R)	200/55-ZR17
全長 / 全幅	2,070mm / 810mm
ホイールベース	1,452mm
シート高	837 mm
車両重量	209Kg (燃料 90%搭載時)
燃料タンク容量	17.9 L



PRESS INFORMATION

◇製品ページ:

<https://aprilia-japan.com/tuonov4/>

◇お客様お問い合わせ先:

ピアッジオコール 03-3453-3903

◇報道関係者お問い合わせ先:

ピアッジオグループジャパン株式会社

〒108-0073 東京都港区芝2-12-10 タカナミビル1F

○ PR マーケティング: 河野 僥太 (こうのりょうた)

E-Mail press@piaggio.co.jp

代表電話 03-3454-8880 FAX 03-3454-8868